



## 地元と一体となり防災意識を向上



東京地本足立地域事務所（所長 松本2陸尉）は6月16日、足立区立栗原北小学校において実施された「栗原北避難所訓練」に参加した。

この訓練は毎年、「栗原北小学校避難所運営本部」等が主体となって企画しているものであり、23回目を迎える今年は地域住民等約200名が参加した。

足立地域事務所からは自衛隊のヘリコプターによる人命救助や行方不明者捜索、食事や入浴支援等、災害派遣時の活動写真を展示し、活動内容について訓練参加者に説明した。災害発生時の自衛隊の多岐に渡る活動を知った参加者は、「自衛隊の必要性を改めて感じる」と感想を述べていた。また、自衛隊救急車の展示の前では東部方面衛生隊の隊員が、要救助者を発見した後の行動（周囲への声かけやAEDの使用、心臓マッサージの方法）を実演しながら説明した。

実際に一連の行動を体験した参加者からは、「大変役に立った。以前から身に付けたいと思っていたが機会がなかったため、今回の訓練に参加して良かった」という言葉が聞かれた。

足立地域事務所では、今後も地域に密着した広報活動を積極的に実施するとともに、関係部隊等と連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する区民等の理解と関心を高め、防衛基盤の強化に努めるとともに、防災意識の向上に寄与していきたいとしている。

## 新隊員が母校を訪問



東京地本足立地域事務所（所長 松本2陸尉）は6月27日、都立足立東高校において、高校生リクレータとともに採用広報活動を実施した。

これは、今年の春に同校から入隊した新隊員が、自衛隊での活動内容を母校の教員や後輩に伝え、自衛隊に対する関心と理解を深めることを目的としたものである。

当日は、平成31年（令和元年）に一般曹候補生及び自衛官候補生として朝霞駐屯地に所在する女性自衛官教育隊に入隊した新谷美花2等陸士、井上綾乃2等陸士及び粕川聖佳自衛官候補生が母校を訪問した。当時の担任や部活動の顧問及び在校生らと対面した3名は、それぞれ近況を報告するとともに、自衛隊での教育や駐屯地での生活の様子などを伝えた。

自衛官の採用試験に興味を示す後輩に対し、親身になってアドバイスを3名の高校性リクレータらに先生からは「礼儀を身に付け、見違えるほど立派になった」「国を守るため健康には気を付けて頑張ってください」と激励する声も聞かれた。

足立地域事務所では、今後も同様の取り組みを各部隊等との連携を図りつつ、積極的に採用広報活動を実施し、自衛隊への理解を深化させ、一人でも多くの方に自衛隊に興味をもってもらえるよう募集努力を積み重ねていくとしている。

## 広報官らがテレビで自衛隊をPR



東京地本台東出張所（所長 武下3陸佐）は7月5日、BSテレビ東京で毎週金曜深夜0時から放送中の「パカリスムの30分ワンカット紀行」に出演した。

この番組は、開始から終了までワンカットで撮影して、日本各地のメジャースポーツや意外と知られていないスポットを紹介するバラエティで、2017年から放送されている人気番組であり、今回は台東区上野駅周辺が取り上げられた。

撮影では、制服や迷彩服姿の台東出張所の所長以下5名の隊員が、取材中の撮影スタッフと遭遇し、上野駅近傍に所在する「台東出張所」を紹介するとともに、昨年、採用年齢が引き上げられた自衛官の募集についてPRした。その後、台東出張所の広報官行きつけの防具店を紹介するため、所長以下隊列を組み駆け足でスタッフを先導したり、全国自衛隊剣道大会で優勝経験もある広報官の鍋山曹長がその腕前を披露する場面もあった。

撮影に参加した広報官らは「カメラを目の前にして緊張した」、「楽しく台東の魅力を広報するお手伝いできた」と感想を述べ、撮り直しのきかないワンカット撮影の緊張感の中、日頃と違った形で自衛隊をPRできたことに手ごたえを感じていた。

台東出張所では、今後も様々な手段を通じて自衛官の募集広報を実施して、一人でも多くの方々に自衛隊に関心をもってもらい、志願化に繋げるよう募集基盤の強化及び拡大に繋げていきたいとしている。